

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	精神障害者社会復帰相談事業						継続		
コード	24	-	43	-	01	-	02	予算事業名	精神保健
担当部署	保健医療部	保健予防課			精神保健担当			予算事業コード	会計 10 款 04 項 01 目 03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	1章	ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち		実施計画事業名	なし
方向性(節)	2節	生涯を通じた健康づくりと安全なまちづくり		個別計画等の名称	川越市保健医療計画
施策	2	保健衛生・医療体制の充実		当事業に関連する事務事業	なし
細施策	1	精神保健対策の推進			
事業実施の根拠となる法令・条例等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者総合支援法				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	回復途上にある精神障害者を対象に、日常生活や対人関係を改善し、社会的に自立できるように支援することを目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	週1回(毎週木曜日9:30~12:00)実施。レクリエーション活動、創作活動(絵手紙、革細工等)、料理、軽スポーツ、所外活動(ハイキング等)などのグループ活動。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額			211	200	199	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A			135	144	199	112
人件費 B	0	0	947	2,415	2,048	2,048
総コスト(C=A+B)	0	0	1,082	2,559	2,247	2,160
正規職員(1年間の従事人数)			0.10人	0.30人	0.25人	0.25人
臨時職員(1年間の従事人数)			0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
国県支出金 D			0	0	0	0
その他特定財源 E			0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	1,082	2,559	2,247	2,160

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	精神障害者社会復帰相談事業の利用人数			420	409	410	27年度 410
	指標の定義・説明	精神障害者社会復帰相談事業(ソーシャルクラブ)を利用している精神障害者の延人数					
成果	精神障害者社会復帰相談事業の卒業者数			0	2	2	27年度 2
	指標の定義・説明	精神障害者社会復帰相談事業(ソーシャルクラブ)を卒業した精神障害者数					
	指標の定義・説明						
	指標の定義・説明						
指標に基づく評価	本事業は、前年度と比較し利用延人数は減少した。その理由としては、2名の精神障害者が年度中に社会復帰を果たしたためである。本事業は精神障害者の社会復帰効果が認められる。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
本事業は効果が認められるものの、週1回の事業サービスの提供には限界がある。精神障害者が社会復帰をするには、よりマンパワーをかけて支援する必要があるため、地域にある他の社会復帰施設と連携することが課題となる。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
中核市等の他保健所においても、保健所及び市町村における精神保健福祉業務運営要領に基づいて、同様の事業が展開されている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
精神障害者社会復帰相談事業(ソーシャルクラブ)は、地域における精神障害者の社会復帰支援事業として、国及び地方自治体が行っている事業である。本事業が廃止、縮小すると、公的な社会復帰支援機能が失われ、精神障害者の社会復帰に重大な影響がある。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		保健医療部				保健予防課	精神保健担当
事務事業名称		24	43	01	02	精神障害者社会復帰相談事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続		地域にある他の社会復帰施設と連携しながら、一人でも多くの精神障害者の社会復帰を支援していくために継続する。			
	26年度	継続		地域にある他の社会復帰施設と連携しながら、一人でも多くの精神障害者の社会復帰を支援していくために継続する。			
	27年度	継続		地域にある他の社会復帰施設と連携しながら、一人でも多くの精神障害者の社会復帰を支援していくために継続する。			